

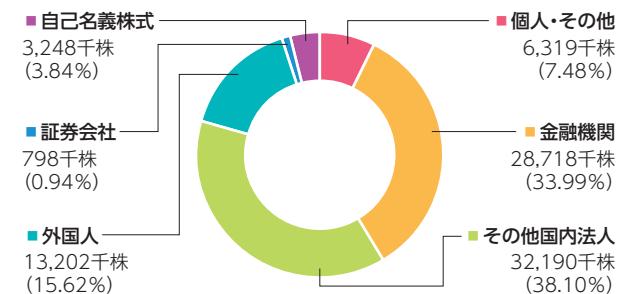
株式情報 (2019年9月30日現在)

株式の状況	
発行可能株式総数	288,000,000 株
発行済株式の総数(うち自己株式 3,248,108株)	84,476,500 株
株主数	10,979 名

大株主(上位10名)		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本航空株式会社	4,398	5.41
ANAホールディングス株式会社	4,398	5.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ 京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	3,484	4.28
株式会社三菱UFJ銀行	3,408	4.19
株式会社みずほ銀行	3,300	4.06
三菱地所株式会社	3,111	3.83
大成建設株式会社	2,831	3.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,569	3.16
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 日本通運口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	2,337	2.87
株式会社日本政策投資銀行	1,829	2.25

(注)持株比率は自己株式(3,248,108株)を控除して計算しております。

所有者別株式数分布



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの100%植物油のインクおよびFSC®認証紙を使用し、印刷工程で有害廃液を出さない[水なし印刷方式]を採用しています。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。 https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/
株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)

各種お手続きのお取扱窓口について

住所変更や買取・買増請求等株主さまの各種お手続きのお取扱窓口は以下の通りです。

- 証券会社等に口座をお持ちの場合
お取引の証券会社等になります。
- 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)

電話でのお問い合わせ

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)

- ※土・日・祝日を除く9:00~17:00
- 各種手続きお取扱店
- みずほ証券**
本店および全国各支店
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いいたします。
- みずほ信託銀行**
本店および全国各支店
※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。

日本空港ビルディング株式会社
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

〒144-0041 東京都大田区羽田空港三丁目3番2号(第1旅客ターミナルビル)
TEL:03-5757-8000(代表)

<https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/>



株主・投資家の皆さまへ

第76期 株主通信 第2四半期

2019年4月1日～2019年9月30日



日本空港ビルディング株式会社
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

証券コード：9706

上期は自然災害の影響等があったものの、 当初予想を上回る利益を確保。 中期経営計画の最終年度の目標値の 達成へ向け取り組みを進めます。



代表取締役会長兼CEO
鷹城 勲

代表取締役社長執行役員兼COO
横田 信秋

訪日外国人旅客数は上期累計で増加し、 各空港における航空旅客数も前年を上回りました。

訪日外国人旅客数は、自然災害の影響はあったもののラグビーワールドカップ2019日本大会の開催に加え、中国および東南アジアからの訪日外国人が堅調に伸びていることもあり、上期累計では1,636万人(前年同期比:3.2%増)となりました。

羽田空港では、台風による多くの欠航便が発生したものの、各航空会社の増便や提供座席数の増加もあり、航空旅客数は前年を上回りました。そのほか、成田空港や関西空港といった拠点空港においても、航空旅客数は前年を上回りました。

上期の売上高は予想を下回ったものの、 利益面では予想を上回りました。 通期業績は、当初予想から減収増益を見込んでおります。

上期の売上高につきましては、請負工事収入、警備受託収入および家賃収入等が増加したこともあり施設管理運営業は予想を上回りましたが、物品販売業では、中国人の消費意欲の減退が見られたことや台風15号の影響により物流が滞ったことで、銀座市中免税店では営業に支障が生じるなど全体としても当初予想を下回りました。一方、利益面では、修繕費、広告宣伝費および業務委託費が計画値より下回ったことで、各利益とも予想を上回りました。これにより、売上高は1,352億円、営業利益は111億円、経常利益は107億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、昨年(東京国際空港ターミナル株式会社(以下「TIAT」という。))の連結子会社化に伴う一過性の特別損益がなくなり、59億円となりました。

下期の事業環境につきましては、景気の緩やかな回復が期待されるものの、中国経済、日韓関係および香港情勢など予断を許さない状況が続くものと見ております。売上高では、航空会社への家賃収入や駐車場収入は増加を見込むものの、商品売上は、中国人の消費意欲の減退が見られたことで予想を下回るものと見込んでおります。一方、費用面では、新たな研修施設の取得に伴う一時費用が発生します。通期の航空旅客数については、2020年3月29日からの羽田空港国際線の増便を踏まえ、羽田空港国内線では通期で1.2%増、国際線では通期で3.9%増を見込んでおります。通期の業績につきましては、上期に一部の費用が下振れたことやTIATとの連結子会社化によるコスト削減効果により、当初予想からは減収増益を見込んでおります。その結果、売上高は2,757億円、営業利益は167億円、経常利益は151億円、親会社株主に帰属する当期純利益は83億円を予想しております。

羽田空港の価値創造による航空輸送の発展を 実現するため3つの戦略の柱を推進してまいります。

「羽田空港の“あるべき姿”の追求」について

2016年度から2020年度までの5年間を計画期間とする中期経営計画「To Be a World Best Airport 2020」の進捗状況についてですが、まずは、「羽田空港の“あるべき姿”の追求」として取り組んでいる第2ターミナル国際化施設の拡張工事は、2020年3月29日の供用開始に向け計画通り進捗しております。また、「FAST TRAVEL」を推進する取り組みとして、チェックインから搭乗に関する諸手続きの円滑化を目的に、最先端技術を活用した顔認証機器の導入を進めております。

「強みを活かした事業領域の拡大・収益多元化」について

「強みを活かした事業領域の拡大・収益多元化」では、戦略的に取り組んでおります免税事業において、日本人出国者数の増加などプラス材料もある中、引き続き、店舗改装や商品構成の見直しを積極的に進めることやeコマースを活用した販売方法により売上増進策を進めてまいります。市中免税事業におきましても、10月より資生堂グループとコラボレートした新たなbeauty体験空間をオープンするなど、訪日外国人に堅調な需要がある商品を中心に品ぞろえの強化を図ってまいります。海外においては、当社は、三菱商事株式会社を代表企業とした日本企業連合として、モンゴルの新ウランバートル国際空港において15年間の空港運営事業をモンゴル国政府国家開発庁と締結し、2020年上期中の運営開始を目指して準備を進めております。羽田空港跡地第1ゾーン整備事業「HANEDA INNOVATION CITY」では、鹿島建設株式会社を代表企業とし当社も出資している羽田みらい開発株式会社が、「先端産業と文化産業を融合させることで新たな可能性、価値を生み出す発信拠点」として、2020年夏のまち開きへ向け、鋭意準備を進めております。また、11月8日に適時開示しました通り、株式会社エージーピーの株式を取得し、持分法適用関連会社化することとしました。同社は、空港に駐機している航空機に、電力や冷暖房などを提供する動力事業のほか、格納庫を使用したビジネスジェット支援事業を行っており、このノウハウを活かすことで、当社の事業領域の拡大や国内外空港の運営事業への展開において、新たなシナジー効果を期待できると考えております。

「収益基盤再構築・競争優位の確立」について

「収益基盤再構築・競争優位の確立」では、8月に成田空港の「JAPAN DUTY FREE 本館店」をリニューアルオープンさせ、店舗ロゴデザインや空間デザイン等を刷新し、現代的な「日本の美」を感じることで、今までにない全く新しいコンセプトのデューティーフリーショップへと生まれ変わりました。このほか、機内食事業では、2020年3月29日の羽田空港国際線の増便に伴い、さらなる既存顧客航空会社需要増の受け入れと新規顧客航空会社を獲得するため、当社グループの羽田空港内機内食工場を拡充することで事業の拡大を図ってまいります。

羽田空港における 安全管理の取り組みを一層強化。

本年は大規模自然災害が多発し、各地域においても大きな被害をもたらしました。当社はこうした自然災害に対して、対策本部を

設置するとともに重要設備の養生や土嚢の設置などの予防措置を講じたことで、旅客ターミナルビルの運営に大きな支障はございませんでした。今後も国土交通省をはじめとする関係機関と連携し、ハード、ソフトの両面における安全管理の取り組みを一層強化し災害に強い企業集団を目指してまいります。

6年連続で世界最高水準である 「5スターエアポート」を獲得。

おかげさまで、羽田空港旅客ターミナルは、英国のSKYTRAX社から世界最高水準の空港ターミナルの評価として、「5スターエアポート」を6年連続で獲得しました。当社は来年3月からの国際線の増便や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を控え、これからも日本の空の玄関口として、すべての空港スタッフが常に高い意識を持ち、お客さま目線に立った施設とサービスの提供を心がけてまいります。

中間配当金を増配し1株当たり22円とし、 年間配当金は1株当たり42円を予定。

株主の皆さまへの利益還元につきましては、羽田空港の一層の機能強化が求められる中、今後の大規模投資を考慮して内部留保を確保すると同時に、安定した配当を継続して実施することを基本方針としております。

当期の中間配当金につきましては、上期業績は当初予想を上回る利益を達成しましたので、前回予想から2円増配して1株当たり22円といたします。また、期末配当金につきましては、据え置くこととし、年間配当金は42円を予定しております。

株主の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■決算ハイライト (2020年3月期 第2四半期連結業績)

売上高	1,352億円
営業利益	111億円
経常利益	107億円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	59億円

羽田空港の利便性がますます向上

1 第1ターミナル リニューアル工事完了

2018年10月より実施しておりました羽田空港第1ターミナルのリニューアル工事が、2019年9月30日をもって完了しました。

今回の工事では羽田空港に来られたお客さまがよりスムーズな移動が可能となるよう地下1階および到着階を対象エリアとし、到着出口の集約による動線の整理およびバス待合スペースの整備などを行いました。

ここが変わった!

Point 1 明るい空間

柔らかい光が満遍なく行きわたる空間になり、館内がより一層明るくなりました。

Point 2 羽田空港だけの照明

通路に並行する間接照明は延長約330mにわたり、ロビー全域を優しく照らします。

Point 3 利便性の向上

待合空間の充実や空港関連施設(バス・宅配便・レンタカー)の再配置、お客さまの移動を円滑化しました。

地下中央案内所のリニューアル



Before



After

現代的でシンプルなデザインへと変化しました。吹抜部からの光を受け、明るさが際立ち、第1ターミナルを訪れるすべてのお客さまを温かく迎えます。また、ユニバーサルデザインに対応したカウンターや館内マップ等の収納スペースが設けられ、機能が向上しました。

到着出口の集約



Before



After

到着出口を12カ所から8カ所に集約しました。また、到着出口の数字が大きく掲示され、視認性が良くなり、フライト情報表示画面は見やすく、先進性のあるデザインになりました。

バス待合スペースの新設



Before



After

バス待合スペースを新設しました。当施設には、スマートフォン等の充電ポールおよび自動販売機などを設置しました。

バス乗車券カウンターの設置



Before



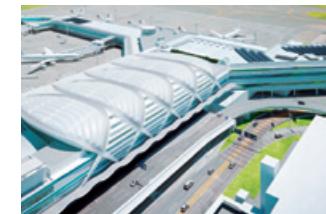
After

バス乗車券カウンターを設置しました。当カウンターでは、ユニバーサルデザインを採用し、デジタルサイネージによりバス乗り場のご案内やニーズの高い路線の空席情報など多くのサービス情報を提供しています。

2 2020年3月29日より国際線が増便

2019年8月8日、国土交通省は首都圏の国際競争力強化や訪日外国人旅行者の受け入れなどのため、2020年3月29日より羽田空港において国際線を年間約3.9万回増便することを決定いたしました。

当社においては、3月29日の供用開始に向けて第2ターミナルの一部国際化工事を着実に推進しており、国際線施設における旅客サービスの向上に向けた取り組みとして、セルフサービスによるチェックイン機、手荷物預け機および保安検査のスマートレーン等の導入を行い、空港利用者の手続きの円滑化と待ち時間のさらなる短縮を目指す「FAST TRAVEL」を推進してまいります。



第2ターミナル国際線外観 (イメージ)



第2ターミナル国際線出発ロビー (イメージ)

2 施設名称を「HANEDA INNOVATION CITY」 (略称: HICity)に決定

羽田空港跡地
第1ゾーン整備事業(第一期事業)

当社ほか8社が出資する「羽田みらい開発株式会社」が推進し、2020年夏頃の開業を予定している「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業(第一期事業)」の施設名称を、「HANEDA INNOVATION CITY*」(羽田イノベーションシティ)略称: HICity*(エイチ・アイ・シティ)に決定しました。

※商標登録出願中

施設名称「HANEDA INNOVATION CITY」(略称: HICity)

日本の空の玄関口として世界中のヒト・モノ・コトを運んできた「羽田空港」の跡地。そのDNAを受け継ぐこの都市では、町工場が育んだ技術と最新テクノロジー、伝統文化と現代アートが融合します。異なる価値が行き交い、交錯し、日本の次なるイノベーションを発信していくこの場所にふさわしいネーミングとしました。



歩行者デッキ2階(イメージ)
(パース提供: 羽田みらい開発株式会社)

施設ロゴ



シンボルマークは漢字の「羽」をモチーフとしています。羽田空港跡地であり、羽田空港アドレスである、この土地の持つイノベティブなDNAを未来に受け継いでいく施設であること。また、この施設が、ここに集まる多様な人々の想像力と創造力の翼となり、さまざまなイノベーションが飛び立つ「新産業創造・発信拠点」となる場所であること。これらを「羽」という一文字に託しマーク化しました。

計画概要

羽田のまちの歴史と記憶が刻まれた約5.9haの広大な敷地に、研究開発施設(ラボ・大規模オフィス)、先端医療研究センター、会議場、イベントホール、日本文化体験施設、飲食施設、研究・研修滞在施設、水素ステーション等を中心とした多彩な用途からなる複合施設を整備し、異分野が互いに刺激し合うことで新しい体験や価値の創造を加速する、未来志向のまちづくりを目指します。

事業主体	羽田みらい開発株式会社
交通	京浜急行電鉄空港線・東京モノレール「天空橋駅」直結
スケジュール	2020年夏頃まち開き(先行施設開業) 2022年グランドオープン



3 モンゴル国 新ウランバートル 国際空港運営事業へ参画

当社と、三菱商事株式会社、成田国際空港株式会社、株式会社JALUXは、モンゴル国政府との合弁で設立したNew Ulaanbaatar International Airport LLC社を通じて、2019年7月5日にモンゴル国政府国家開発庁との間で事業権契約を締結し、新ウランバートル国際空港の15年間の運営事業に参画することになりました。

新ウランバートル国際空港の運営においては4社の経験・知見を活かし、安全を最優先に、新空港の能力を最大限活用し就航路線や便数を拡大していくことなどで空港サービスの利便性の向上に努めるとともに、魅力ある商業施設の整備・運営等を通じて収益力の強化を図ります。



三菱商事

インフラプロジェクトの
事業運営・建設の豊富な実績

日本空港ビルデング 成田国際空港

羽田空港、成田空港の
運営会社としてのノウハウ

JALUX

空港でのリテール事業や
海外での空港運営実績

モンゴル国の航空需要と新国際空港の建設について

モンゴル国の航空需要は、同国の政治・経済・商業の重要拠点である首都ウランバートルを中心に増加傾向にあり、今後も同国の豊富な地下資源や畜産資源に対する投資拡大等を背景に、航空需要の増加が見込まれています。

このような状況の下、現在の国際空港は、地理的制約から風向き等の気象条件により運用が制限されているため、ウランバートル市中心部の南方約50kmの場所に新空港が建設されました。



新ウランバートル国際空港 ターミナルビル

SKYTRAX社“Global Airport Rating” 6年連続「5スターエアポート」を獲得



羽田空港旅客ターミナルは英国のSKYTRAX(スカイトラックス)社^(注)が実施する“Global Airport Rating”において、6年連続で世界最高水準である「5スターエアポート」を獲得しました。

この1年間、国内線・国際線ともに、多様化するお客さまのニーズをくみ取り、旅客の利便性および快適性を追求し、その結果、引き続き高い評価をいただくことができました。

来年3月からの国際線の増便や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を控え、これからも、すべての空港スタッフが常に高い意識を持ち、お客さま目線に立った施設とサービスの提供を心がけ、世界中からお越しになるお客さまや航空関係者等から信頼され続け、選ばれる空港を目指してまいります。

(注) 1989年創立の英国に拠点を置く航空サービスリサーチ会社。世界の空港や航空会社の評価を行っており、評価の項目は多岐にわたっています。

Global Airport Ranking 5スターエアポート 受賞空港

空港/国	
羽田空港	中部国際空港*
ハマド国際空港/ カタール	上海虹橋空港/中国
香港国際空港/中国	海口美蘭国際空港/ 中国*
仁川国際空港/韓国	ハイデル・アリエフ国際空港/ アゼルバイジャン*
チャンギ国際空港/ シンガポール	プラトフ国際空港/ ロシア*
ミュンヘン国際空港/ ドイツ	サララ国際空港/ オマーン*

*Regional部門で受賞

2018年度 お客さま満足度調査



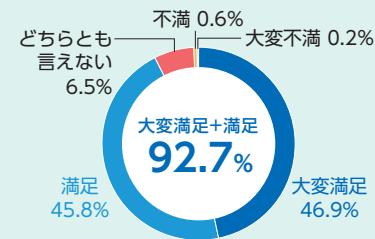
当社では、羽田空港第1・第2ターミナルにおけるお客さま満足度の向上を図るため、ご利用のお客さまを対象にアンケート調査を実施しております。2018年度のアンケートの結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

(調査日：2019年1月31日(木)、2月1日(金)、2月2日(土))

主なポイント(かつて内は前年度)

- 第1・第2ターミナルにおける総合満足度は92.7%(93.1%)と前年度に引き続き非常に高い満足度となりました。
- 特にターミナル内各所の「清潔さ」については94.0%(93.6%)、コンシェルジェの対応については93.0%(92.1%)、警備員の対応については85.2%(79.0%)と高評価をいただきました。
- スマートフォン等の充電設備については、設置数や場所のわかりやすさへの評価が大きく向上しました。

総合満足度



成田空港と銀座で 免税店がリニューアルオープン!

成田空港第2ターミナル 「JAPAN DUTY FREE 本館店」リニューアルオープン!



当社は2019年8月9日、成田空港第2ターミナル本館3階出国手続き後エリアのデューティーフリーショップ「JAPAN DUTY FREE 本館店」をリニューアルオープンしました。

今回のリニューアルは、1992年の開店以来の大規模なもので、店舗ロゴデザインや空間デザイン等を刷新し、現代的な「日本の美」を感じることで、今までにない全く新しいコンセプトのデューティーフリーショップへと生まれ変わりました。

海外へのご出発前に、生まれ変わった「JAPAN DUTY FREE 本館店」でごゆっくりお買い物をお楽しみください。

店舗概要

店舗名	JAPAN DUTY FREE 本館店	営業時間	7:30~21:30
取扱品目	化粧品、酒、たばこ、美容雑貨等	免税品予約	https://duty-free-japan.jp/narita/jp/
場所	成田空港第2ターミナル本館3階 出国手続き後エリア		

Japan Duty Free GINZA 新たなるbeauty体験空間をオープン

Japan Duty Free GINZAでは、資生堂グループとコラボレートした新たなるbeauty体験空間を、2019年10月2日にオープンしました。新時代の美を体験する場として、ゆったりとした空間でのコンサルテーションとデジタルを活用したbeauty体験ができます。また、「クレ・ド・ポー ボーテ」、「SHISEIDO」、「THE GINZA」、「セルジュルタンス」、4ブランドのコーナーを拡大して、新たに「THE COTTON」、「資生堂パーラー」の取り扱いも開始しました。

免税店限定のお得な商品が充実したJapan Duty Free GINZAでのショッピングをお楽しみください。



【概要】

取扱ブランド
クレ・ド・ポー ボーテ、SHISEIDO、THE GINZA、セルジュルタンス、THE COTTON、資生堂パーラー

営業時間 10:00~20:00
※日曜日(ただし、祝日による連休最終日は19:30閉店)

日本空港ビルデングは ESGへの取り組みを進めます

ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取ったもので、企業の長期的な成長(サステナビリティ)のために取り組むべき3つの観点として明示されるものです。

当社においても、ESGへの取り組みを進めています。

「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム」への支援 寄付型自動販売機の設置と「フューチャービジョン」による広告支援

当社は、文部科学省・日本学生支援機構・民間企業のオールジャパン体制でグローバルな人材を育成する官民協働プロジェクト「官民協働海外留学支援制度(トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム)」へ支援を行い、意欲と能力のあるすべての日本の若者を応援します。



支援の概要	1 寄付型自動販売機の設置		2 「フューチャービジョン」による広告支援	
		第1ターミナル	4台	第1ターミナル、第2ターミナル内の搭乗口付近にあるデジタルサイネージにて、「官民協働海外留学支援制度(トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム)」の映像広告を放送。
	第2ターミナル	4台		
	国際線ターミナル	2台		

トビタテ！留学JAPAN

「日本再興戦略」に基づき、意欲と能力あるすべての日本の若者が、海外留学に一步踏み出す機運を醸成することを目的として、文部科学省が2013年10月より展開している留学促進キャンペーン。



寄付型自動販売機

東京エアポートレストラン直営飲食店における プラスチック製ストローの提供を廃止

世界規模で大きな環境問題となっている「海洋プラスチックごみ問題」に配慮し当社のグループ会社である東京エアポートレストラン株式会社は、羽田空港と成田空港の直営レストラン(42店舗)およびラウンジ(6店舗)において、プラスチック製ストローの提供を廃止しました。(2019年9月末日)



事業別概況

施設管理運営業

対前年同期比
増収減益となりました。

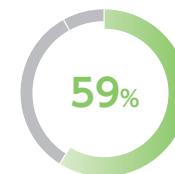
- 羽田空港国内線および国際線ターミナルの航空会社への貸室増加による、家賃収入の増加および旅客数の増加による、旅客取扱施設利用料の増加
- 営業利益は、減価償却費および運用経費の増加等により減益



物品販売業

対前年同期比
減収減益となりました。

- 羽田空港国内線第2ターミナル拡張整備工事に伴う店舗閉鎖による、国内線売店売上の減少
- 成田空港免税店、市中免税店の店舗改修の一時閉鎖および訪日中国人の消費意欲の減退等による、国際線売店売上の減少
- 成田空港での卸売事業の縮小および地方空港への卸売の減少



飲食業

対前年同期比
増収増益となりました。

- 旅客数の増加による、羽田空港国際線旅客ターミナルにおける飲食店舗売上の増加
- 顧客外国航空会社の旅客数の増加等による、機内食売上の増加



四半期連結
貸借対照表のポイント

① 資産合計

国有財産使用料の支払等による現預金の減少により、前期末に比べて104億3千万円減少の4,742億2千4百万円となりました。

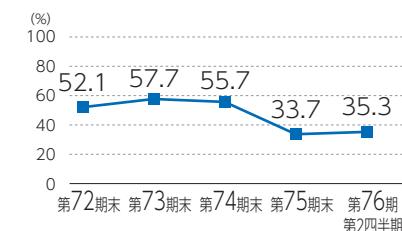
② 負債合計

未払金(P4駐車場の増床工事代金等)の支払や長期借入金の約定返済等により、前期末に比べて160億4千3百万円減少の2,672億2千1百万円となりました。

③ 純資産合計

利益剰余金や非支配株主持分の増加等により、前期末と比べて56億1千2百万円増加し、2,070億2百万円となりました。この結果、自己資本比率は35.3%(前期末33.7%)となりました。

■ 自己資本比率



(単位:百万円)

四半期連結貸借対照表	前期 2019年3月31日現在	当第2四半期 2019年9月30日現在
資産の部		
流動資産	123,817	117,068
固定資産	360,837	357,156
有形固定資産	292,393	287,395
無形固定資産	39,637	38,545
投資その他の資産	28,806	31,215
① 資産合計	484,654	474,224
負債の部		
流動負債	67,894	58,365
固定負債	215,370	208,855
② 負債合計	283,264	267,221
純資産の部		
株主資本	157,592	161,750
その他の包括利益累計額	5,807	5,629
非支配株主持分	37,990	39,621
③ 純資産合計	201,390	207,002
負債純資産合計	484,654	474,224

(単位:百万円)

四半期連結損益計算書	前第2四半期 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日	当第2四半期 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日
④ 営業収益	137,423	135,270
営業総利益	70,694	72,048
⑤ 販売費及び一般管理費	57,732	60,891
営業利益	12,961	11,156
営業外収益	948	1,223
営業外費用	2,148	1,651
経常利益	11,761	10,728
特別利益	25,960	181
特別損失	2,798	44
税金等調整前四半期純利益	34,923	10,866
法人税等	5,279	3,346
四半期純利益	29,644	7,519
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,442	1,573
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,202	5,945

四半期連結
損益計算書のポイント

④ 営業収益

免税店舗での店舗改修による一時閉鎖、羽田空港第2ターミナル拡張整備工事進展に伴う一部店舗の閉店や訪日中国人の消費意欲の減退等の影響により、前年同期比1.6%減の1,352億7千万円となりました。

⑤ 販売費及び一般管理費

昨年度より供用開始した第2ターミナルポーディングステーション、サテライト施設およびP4駐車場の増床による減価償却費の増加に加え、本年9月に完了した第1ターミナルリニューアル工事に伴う修繕費の増加等により、前年同期比で増加しております。

会社概要

(2019年9月30日現在)

会社概要

商号	日本空港ビルディング株式会社 Japan Airport Terminal Co., Ltd.
設立	1953年7月20日
資本金	174億8,920万円(東証一部上場)
事業内容	(1) 羽田空港旅客ターミナルビルの建設、管理運営 (2) 物品販売業務 (3) その他のサービス業務

本社および営業所など

本社	東京都大田区羽田空港三丁目3番2号 (第1旅客ターミナルビル)
東京事務所	東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 (丸の内ビルディング14階)
成田営業所	千葉県成田市古込字込前164番地 (成田国際空港内コスモビル)
大阪営業所	大阪府泉南郡田尻町泉州空港中1番地
中部営業所	愛知県常滑市セントレア一丁目1番地 (旅客ターミナルビル3階)

役員

代表取締役会長兼CEO	鷹城 勲
代表取締役社長執行役員兼COO	横田 信秋
代表取締役副社長執行役員	鈴木 久泰
取締役副社長執行役員	赤堀 正俊
取締役副社長執行役員	宮内 豊久
取締役副社長執行役員	大西 洋
専務取締役執行役員	米本 靖英
常務取締役執行役員	川下 晴久
常務取締役執行役員	石関 佳志
常務取締役執行役員	丹治 康夫
常務取締役執行役員	田中 一仁
取締役(非常勤)	原田 一之
取締役(非常勤)	植木 義晴
取締役(非常勤)	長峯 豊之
取締役(非常勤)	木村 恵司

監査役	古賀 洋一
監査役	盛田 靖子
監査役(非常勤)	竹島 一彦
監査役(非常勤)	岩井 幸司
監査役(非常勤)	柿崎 環
上席専務執行役員	知久 守一
上席専務執行役員	岩松 孝昭
上席専務執行役員	田口 繁敬
常務執行役員	徳武 大介
常務執行役員	藤野 威
常務執行役員	小山 陽子
常務執行役員	稲葉 一雄
常務執行役員	神宮寺 勇
常務執行役員	上原 貴宏
常務執行役員	足立 仁
執行役員	林 秀樹
執行役員	永瀬 光統
執行役員	高橋 歩
執行役員	松田 圭史

株主優待のお知らせ

当社では3月31日時点の株主さまに対して、
毎年6月下旬の年1回、
株主ご優待券を贈呈させていただいております。

優待内容

	株主さま全員に		3年以上保有の株主さまに
ご所有株式数 100株以上 1,000株未満	株主ご優待券 1枚 1,000円分 	株主ご優待割引券 割引券(10%引) 5枚 	長期保有優待 VJAギフトカード1,000円券 1枚 
ご所有株式数 1,000株以上 10,000株未満	株主ご優待券 2枚 2,000円分 	株主ご優待割引券 割引券(10%引) 5枚 	長期保有優待 VJAギフトカード1,000円券 2枚 
ご所有株式数 10,000株以上	株主ご優待券 3枚 3,000円分 	株主ご優待割引券 割引券(10%引) 5枚 	長期保有優待 VJAギフトカード1,000円券 3枚 

ご利用になれる店舗／対象となる株主さま

- 株主ご優待券：羽田空港ターミナル内店舗をはじめとする当社指定の店舗にてご利用いただけます。
- 株主ご優待割引券：羽田空港、成田空港、関西空港および中部空港等の当社指定の免税店舗でご利用いただけます。

株主ご優待券	株主ご優待割引券	長期保有優待
<ul style="list-style-type: none"> ● 羽田空港第1・第2・国際線ターミナル、成田空港、関西空港および中部空港の当社指定の店舗 ● Japan Duty Free GINZA(三越銀座店8階) ● Air Bic Camera <small>※一部店舗、商品(金券等)によってはご利用いただけません。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 羽田空港国際線ターミナル、成田空港、関西空港および中部空港の当社指定の店舗 ● Japan Duty Free GINZA(三越銀座店8階) <small>※店舗によっては一部ご利用いただけません。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象：保有継続期間が3年を超える株主さま(毎年3月31日現在の株主名簿に、当社株式1単元(100株)以上の株主として記載または記録され、かつ、同一株主番号で9月30日および3月31日の株主名簿に連続7回以上記載または記録された株主さま)

※Japan Duty Free GINZAは空港型市中免税店です。羽田空港または成田空港から国外へ出国されるお客さまがご利用いただけます。なお、商品の購入にはパスポートと出国日時がわかるもの(航空券等)が必要となります。
※ご利用可能店舗は、新規オープン・撤退・業態変更等により変わる場合がございますことをご理解賜りますようお願い申し上げます。

詳しくは、以下のURLをご覧ください。

https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock_information/preferential.html